

KAWASAKI STEEL GIHO

Vol.31 (1999) No.1

10

Recent Activities in Research of Electrical Steel

(Michiro Komatsubara)

:

10

1995

2

Synopsis :

電磁鋼板研究 10 年の歩み*

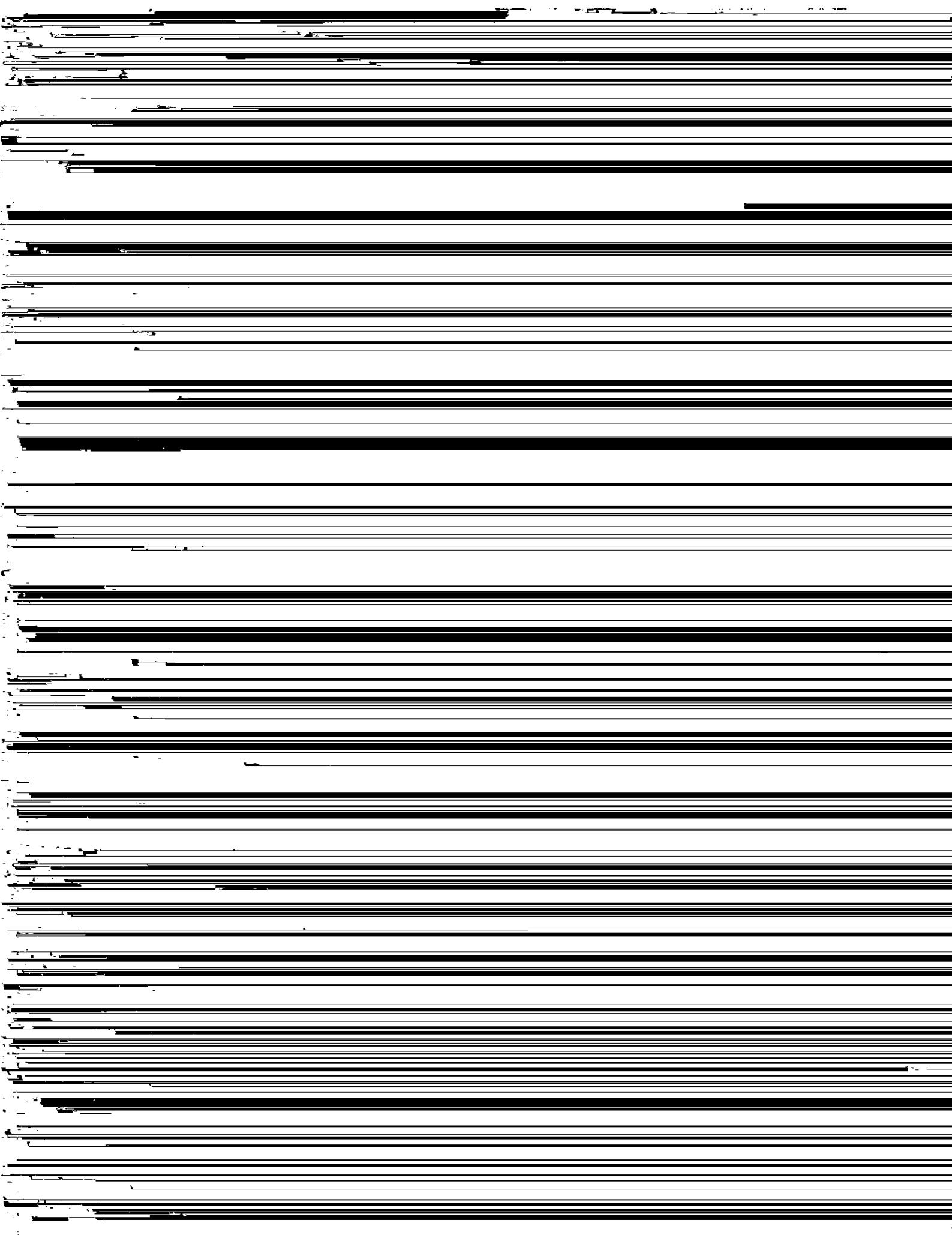
川崎製鉄技報
31 (1999) 1, 41-45

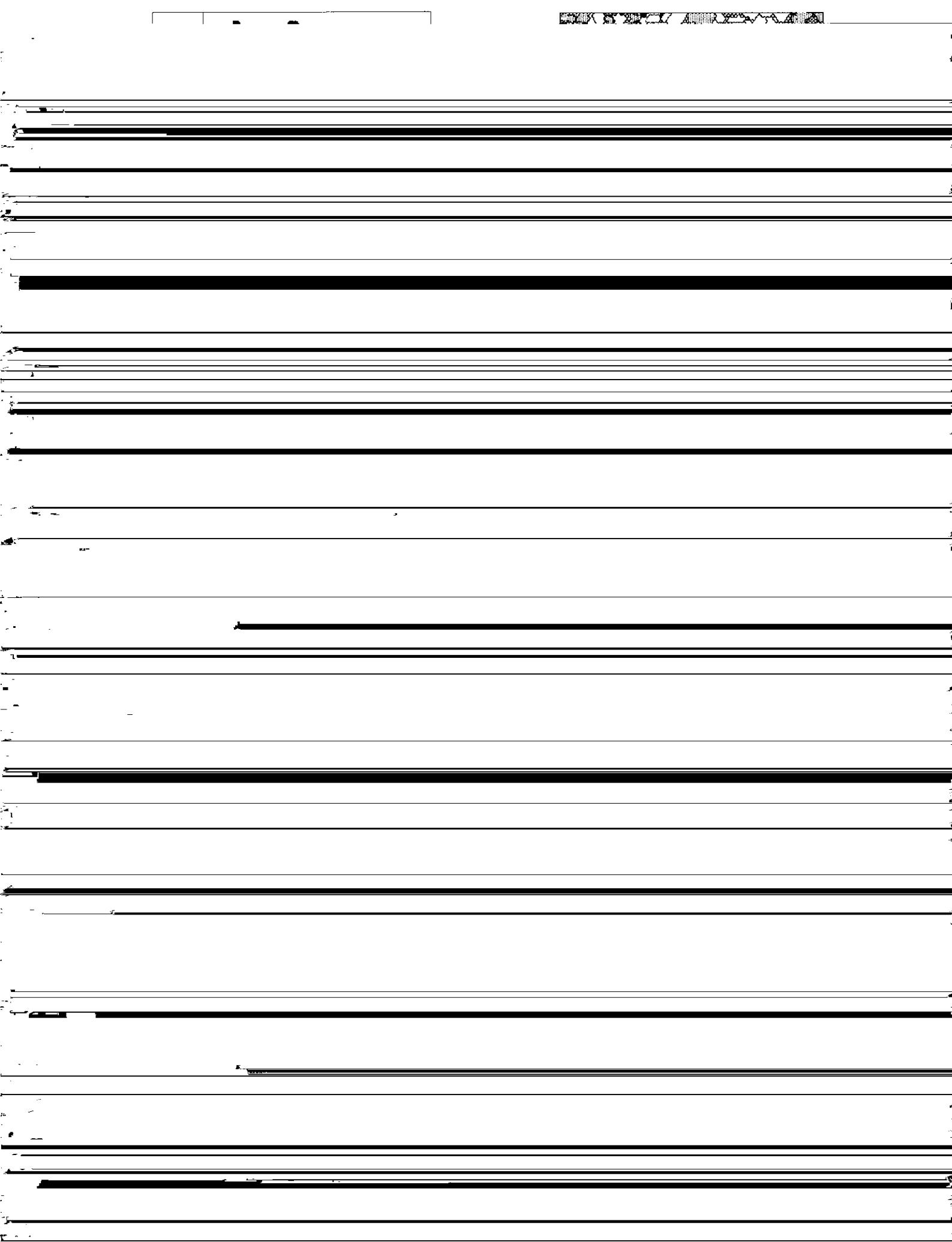
Recent Activities in Research of Electrical Steel



要旨

この 10 年間の電磁鋼板研究において、1995 年に終了した電磁鋼板の半自動化研究から、半自動化研究から始めて上級スチール化





(a) $B_m = 1.0 \text{ T}$ (b) $B_m = 1.7 \text{ T}$ 

の関係については従来より活発な議論がなされてきた。

（ス）表面粗さを縮小オーストム 電磁誘導モータおよびインバータ (6) 高取締後低鉄損無方向性電磁鋼板

た。EI コアやモータの小型化のニーズに適合する。

モータ、DC ブラシレスインバータモータなどをモデルモータとし

「50RMA300, 35RMA250」

表面粗さを縮小した電磁誘導モータ用の新規電磁鋼板を開発した。